

平成 22 年度海外ビジネスネットワーク構築事業
(ジャパンパビリオン設置「中国：2010 上海国際
木造エコ住宅博覧会」) 実施報告書

ジャパンパビリオンの出展 実施活動と結果

平成 23 年 3 月

委託者：農林水産省林野庁

受託者：日本木材輸出振興協議会

当会は、農林水産省の海外ビジネスワーク構築事業（ジャパンパビリオン設置「中国で開催された 2010 上海国際木造エコ住宅博覧会」）を受託し、出展前のプロモーション、会期中の出展・商談、意見交換・商談会、セミナー開催、広報宣伝並びに事後フォローアップ活動を事業計画に基づいて行った。その実施概要は以下のとおり。

1. ジャパンパビリオンの出展・商談

当会は、8月17日（火）～20日（金）に上海市浦東新国際博覧センターで開催された「2010 第2回上海国際木造エコ住宅博覧会」（主催者：万博グループ上海現代国際展覽有限公司、上海市建築材料協会）に国産材のジャパンパビリオンを出展し、出展の13企業・団体とタイアップして、国産材輸出拡大に寄与する展示、商談、広報活動を行った。



写真1. ジャパンパビリオンの出展状況

ジャパンパビリオンは135㎡（15小間に相当）あり、その躯体は国産材のLVLの柱、梁、間柱で組み立てた。パビリオン内には、高度な技術を駆使し、国産材の特徴を現した①APS工法によるスギ木造住宅建躯体、②組立式スギ和室キット及び木製ドア、③スギ・ヒノキ材の内外装材（フローリング材、サイディング材、腰板、壁板、燻煙熱処理材した高級天井・壁材、表面処理加工材）、④スギ等の木製品（テーブル、スギの間伐材の網代加工したフローリング・壁材表面材）、⑤ヒノキの浴槽、⑥木造住宅模型等各種の国産材製品を多数展示した（写真1）。なお、出展スケジュール及び出展各社の出展目的・出展品は、表1、表2のとおり。

ジャパンパビリオンは、人気のあるパビリオンの一つであり、多数のバイヤーがジャパンパビリオンに立ち寄り盛況裡にPRや商談を進めることができた。ジャパンパビリオン入場者数は約8,000人にのぼり、会期中の商談件数は320件、うち商談継続件数156件（成約の可能性を含むもの）であった。出展各社の商談状況は表3のとおりである。出展各社の展示・商談の状況及び展示品の状況は写真2、写真3のとおり。

なお、今回の「2010 第2回上海国際木造エコ住宅博覧会」と併催の「第21回中国（上海）国際建材・インテリア展覧会」を合わせて、全体の展示面積は30,000㎡であり、出展者数

は518社、うち海外76社（出展国：日本、韓国、ドイツ、米国、フランス、イタリア、オーストリア、カナダ、イギリス、スイス、デンマーク、マレーシア、中国香港、中国台湾等14カ国・地域）であった。また、一般消費者ではなく、専門業者向けの本展示会の来場者数は21,624名、うち海外1,534名であった。

ジャパンパビリオン以外の他のブースの展示状況は写真4のとおり。

表1. 展示会のスケジュール

月 日	時 間	内 容
8月15日(日)	9:00-18:00	設営 前半：「ジャパンパビリオン(展示館)」 後半：共通スペース等設営
16日(月)		設営(出展各社)
17日(火)	10:00-10:15 10:00-17:00 13:30-17:30	パビリオン オープン式 展示・商談活動 日中木材・木造建築セミナー (上海新国際博覧センター2階 E2-M17 会議室)
18日(水)	9:00-17:00	展示・商談活動
19日(木)	9:00-17:00 13:30-15:15 15:30-17:00	展示・商談活動 意見交換会(上海飄鷹大酒店4F 会議室) 商談会(同上)
20日(金)	9:00-12:00 12:00-18:00	展示・商談活動 パビリオン・展示物撤収

表2 出展各社の出展目的・出展品

出展者	都道府県	出展目的	出展内容
池見林産工業株式会社	大分	スギ、ヒノキの内外装材の販路拡大	ヒノキの床暖用フローリング、スギ、ヒノキ内外装材、桧風呂
影山木材株式会社	静岡	地域産ヒノキの富裕層向け内装材のPR及び販路開拓	ヒノキの内装材のパネル
桑原木材株式会社	愛知	国産スギ、ヒノキの内装材の販売促進	秋田スギの天井板・テーブル天板、東濃ヒノキの羽目板等
越井木材工業株式会社	大阪	スギ等の不燃加工材の市場開拓及び販売促進	スギ・ヒノキの防腐・難燃処理材
株式会社粉河	和歌山	富裕層向けの本格的和室の内装部材の販売拡大	スギ、ヒノキ等を使用したユニット和室、室内ドア
株式会社タカヤマ	大阪	APS工法を使用したヒノキ等の木造軸組住宅の販路開拓	ヒノキのAPS工法(木造軸組)住宅の構造躯体等
株式会社徳田銘木	奈良	スギ、ヒノキの磨丸太の市場調査及び販路開拓	スギ、ヒノキを使用した磨丸太の加工商品等
ドリーミー大和株式会社	鹿児島	燻煙熱処理したスギ内装材のPR及び販路拡大	燻煙熱処理したスギの幅広、長尺の柾目調壁材・天井板、床暖対応フローリング
株式会社ハノ商店	福岡	九州産材スギ、ヒノキの販路開拓と販売促進	スギ、ヒノキの壁板、製材品のサンプル、集成材家具等

日田材海外出荷対策協議会	大分	日田材の普及宣伝と輸出促進	日田材の見本付パンフレット等
フルハシ EPO 株式会社	愛知	スギ、ヒノキの間伐材を使用した製品の PR と販路拡大	スギ、ヒノキの EPO CABIN(ミニハウス)の模型、間伐材パレット、原木
ミサワホーム株式会社	東京	木質住宅の市場開拓とパートナーの確保	道材マツ等のインテリア及びエクステリア部材等
龍神村森林組合	和歌山	「龍神材」「紀州材」PR と現地代理店の発掘	スギの構造材・無垢フローリングのサンプル、龍神材家具

表 3. 出展各社の商談状況

出展企業	商談等の状況
池見林産工業株式会社	商談件数12件、うち、期待度の大きいもの10件程度あり、このうち、スギ・ヒノキの内装材について、デベロッパー1社及び建築施工会社1社と仮契約済み。日本への招聘及び9月に上海へ再訪し、成約に持ち込む予定。また、特約店の希望者も数社あり、今後、成約に向け努力していく予定。また、上海特約店に内装材3千坪程度の在庫を置く予定。
影山木材株式会社	商談件数 19 件、うち、引き続き商談可能な件数 13 件あり。ヒノキ内装材の品質への評価は高いが、価格面で、米材、ロシア材に比べ倍程度の価格差があり、この点が大きなネック。価格面を検討し、引き続き折衝していく予定であるが、成約の感触は未定。また、販売代理店の希望者も 3 者あり。
桑原木材株式会社	商談件数 63 件、これらの者は、主に、木造建築及び内装設計関係者。継続商談可能なもの 6 件程度あり。テーブル・椅子一体形式のものは、見積の要請（天津）もあり、今後成約にむけて、取組んでいく。
越井木材工業株式会社	商談件数 14 件、うち、商談成立ほぼ確実なもの 1 件、継続商談可能なもの 13 件あり。これらの者は、設計事務所、不動産関係者、建材関係者である。品質については、高い評価を受けているが、ネックは価格である。特に、増値税の 17% が大きい。商談継続者については、アポをとり、現地スタッフが訪問等し、成約向け努力していく。
株式会社粉河	商談件数 35 件、うち商談成立ほぼ確実なもの 1 件、商談継続可能件数 14 件あり。今回の主要な展示物は、価格的に安い中所得者向けの組み立式の和室(2.5m×2.5m)であり、継続商談可能者には、当該社の上海展示場に来訪願う等し、成約への折衝を行っていく。
株式会社タカヤマ	商談件数 63 件、うち商談継続可能件数 19 件あり。APS 工法への高い関心が寄せられたが、問題は単価の問題である。関税等を踏まえ、価額等細かい点を検討し、近く、再度、訪中し、価額提示をし、折衝していきたい。主な相手は、大連の加工・建設会社、黒龍江省の開発会社、河北省のリゾート向け住宅等の投資会社等である。
株式会社徳田銘木	商談件数 20 件、うち、現地設計関係者等と引き続き商談可能なもの 5 件、また、日本の現地法人 4 社からも当社の製品を扱いたいとの申込みあり。今後、現地サポータ等を通じ、商談を継続していく。
ドリーミィ大和株式会社	商談件数 19 件、うち商談継続可能件数 12 件あり。燻煙熱処理により製造した柾目の壁材、天井材には、高い評価を得たが、価格面がネック。中国では、内装材には米スギが多いが、米スギの欠点（2～3年で黒く変色）を知らないで、価格の安さにとらわれている。当社の製品の価値がわかるまでには時間を要する。台湾等からの引き合

	いもあり、当面は、これらを主体に進めて生きたい。
株式会社ハノ商店	商談件数 14 件、うち商談成立ほぼ確実なもの 1 件（無垢のヒノキ壁材）、上海、大連等の建材関係業者等へのヒノキ、スギの集成壁材等について商談継続可能件数 8 件あり。今後、成約にむけて努力していく。
日田材海外出荷対策協議会	商談件数 12 件、うち商談継続可能件数 11 件あり、展示製品はスギの表面加工処理壁材（表面模様、塗装）であり、品質、仕上げ技術については好評を得た。商談継続者とは、日田市の交流センターの中国人スタッフを窓口にして継続商談を行っていく。
フルハシ EPO 株式会社	商談件数 13 件、うち商談成立ほぼ確実なもの 1 件（間伐材）、商談継続可能件数 22 件あり、特にフローリング材（網代加工のもの）が、好評であり、内装建材関係者からサンプル、価格の見積を求められおり、詳細を検討の上、提示等していく。間伐材の利用について、中国市場での展開に希望が持てた。
ミサワホーム株式会社	商談件数 18 件、国産材の廃材を利用した当社の Mwood の製品の品質、技術性への評価は高く、特に、パネルの工業化についての関心が高かった。しかし、品質の高さに伴う価格への認識は低く、今後、コストをいかに削減していくかが課題。
龍神村森林組合	商談件数 18 件、うち商談継続可能件数 19 件あり、製品はスギの壁板、フローリング、構造材であり、成約の感触は未定。今後メール等により、成約にむけ努力していく。

（注：本商談状況は、出展期間中に聞き取り結果をまとめたものである。）



ジャパンパビリオン正面



開会式出展者関係者及び事務局長挨拶



開会式出展企業代表者挨拶



報道機関のインタビュー状況

写真 2. ジャパンパビリオンの展示・商談の状況（1）



来場者へのアンケート調査の状況



商談の状況

写真2. ジャパンパビリオンの展示・商談の状況(2)



株式会社ハノ商店 (ヒノキ無垢壁材、スギ・ヒノキ集成材壁材、テーブル天板)



株式会社タカヤマ (APS 工法のスギ躯体)

写真3. 日本各社の出展状況(1)



影山木材株式会社 (ヒノキ壁材)



フルハシ EPO 株式会社 (間伐材の組立式キャビン模型)



ミサワホーム株式会社 (Mwood 材、熱伝導率体感装置)

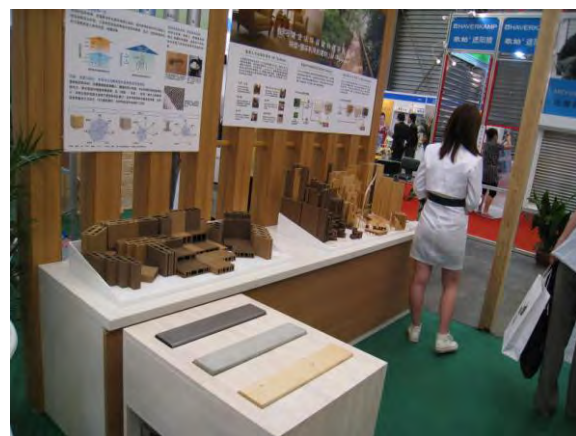


写真 3. 日本各社の出展状況 (2)



株式会社徳田銘木（磨き丸太）



池見林産工業株式会社（フローリング、壁材、桧風呂）



株式会社粉河（組立式スギ和室）

写真3. 日本各社の出展状況（3）



龍神村森林組合（スギフローリング、壁材等）



日田材海外出荷対策協議会（スギ壁板表面処理加工材）



ドリーミィ大和株式会社（燻煙熱処理のスギ柱目天井・壁板）

写真 3. 日本各社の出展状況（4）



越井木材工業株式会社（スギ等の難燃、防腐処理のデッキ材等）



桑原木材株式会社（ヒノキのテーブル及び椅子）

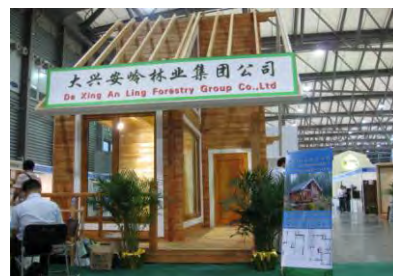
写真3. 日本各社の出展状況（5）



展示場正面玄関



複合木材使用建物

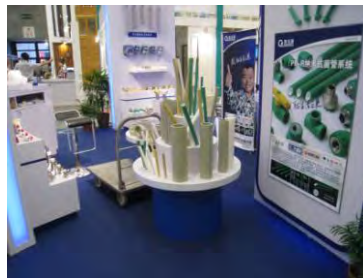


ログハウス

写真4. ジャパンパビリオン以外の展示状況（1）



壁材



壁材

管工材料

鉄骨フレーム建物

写真4. ジャパンパビリオン以外の展示状況 (2)

2. イベントの開催

会期中の8月17日(火)午後1時30分～5時30分、上海新国際博覧センター2階E2-会議室にて、中国建築学会木構造専門委員会メンバー、木構造研究者、大手木造企業技術者、デベロッパー、建築・内装関係専門家、設計士、建築士等97名に対し、日中木材&木造技術セミナーを開催した(写真5)。

開催プログラムは以下のとおり。

① 開会挨拶

- ・日本木材輸出振興協議会 事務局長 小合 信也
- ・中国建築学会木構造専門委員会会長 王 偉 ハルビン工業大学教授挨拶

② 来賓挨拶

- ・在上海日本国総領事館 笠川 濯 副領事

③ 基調講演

- ・「スギ、ヒノキの良さを活かした日本の木造建築」
東京大学名誉教授、木材・合板博物館館長 岡野 健 農学博士
- ・「中国の木造基準と日本産木材・木造技術」
「中国木構造建設規範」管理チーム主任 楊 学兵 高級工程師
- ・「日本の木造基準と日本産木材・木造技術」
東京都市大学教授 大橋 好光 工学博士

④ 日本木材、木造技術等の紹介

- ・高耐久新素材：越井木材工業株式会社 中国市場開拓室長 邱 祚春
- ・木質パネル接着工法：ミサワホーム株式会社 部長 中村 孝
- ・日本のエコ・自然木：株式会社徳田銘木 代表取締役 徳田 浩
- ・日本の最新木造住宅工法—APS工法：株式会社タカヤマ 上村美保



開会挨拶
中国建築学会木構造専門委員会 王偉主任



来賓挨拶
日本国在上海総領事館 笠川 濯 副領事



基調講演
東京大学名誉教授、岡野 健 農学博士



基調講演 中国木構造設計規範管理チーム
主任 楊 学兵 高級工程師



基調講演 東京都市大学教授 大橋 好光 工学博士

写真5. セミナーの開催状況 (1)